

CD-R マスターデータ作成 ～ディスクアットワンスで作成しよう！～

○【ディスクアットワンス】

この方式は、メディアに対して1回だけ書き込みを行えるというものです。最初にセッションの開始を示す「リードイン」を書き込んでから、「データ」、セッションの終了を示す「リードアウト」までを一気にディスクに書き込み、追記できないようにディスクをクローズします。一度にすべてのデータを書き込み、クローズするため、メディアに空き容量があっても追記することはできません。

音楽 CD や CD-ROM のマスターデータはディスクアットワンスで作成します。

×【トラックアットワンス(追記可能な書き込み方法)】

この方式は、1度書き込んだメディアに対して、空き領域がなくなるまで何度でもデータの書き込みが行えるというものです。この方式では、すでに書き込まれたデータを消去することなく、未記録領域に新しいデータを「追記」し、CD-R/RW では、「トラックアットワンス」と呼ばれる書き込み方式です。トラックアットワンスで書き込むと、トラックとトラックの間に「リンクブロック」という継ぎ目ができます。音楽 CD を作成するとき、トラックアットワンスで書き込みを行うと、この「リンクブロック(継ぎ目)」のところでノイズが出てしまいます。従って、音楽 CD や CD-ROM のマスターデータはトラックアットワンスで作成しないで**必ずディスクアットワンスで作成しましょう。**

ディスクアットワンスの場合



トラックアットワンスの場合



- ※ 出来上がった CD データのプロパティからご確認下さい。
- ※ データ CD の場合、必ずボリューム名称(データ名称=品番・タイトル等)を付けてください。
- ※ 音楽 CD の場合、ボリューム名称(データ名称)が CD-Audio になっているかご確認下さい。

【マスターデータとサブマスター】

マスターデータご入稿の際、サブマスターをご入稿下さい。

サブマスターはマスターデータに事故が起こった場合、納期の変更を最小限に抑える為に必要です。

サブマスターは、出来ればマスターデータを書き込んだドライブと違うドライブで書き込む事をお勧め致します。

これはドライブが古くなっている場合、焼きミスを起こす場合があります、

同じドライブで書き込むと同じ焼きミスを起こす可能性が高いからです。

また、メディアは国産 CD-R をお勧め致します。マスター、サブマスターともにデバッグや動作確認などを行って下さい。

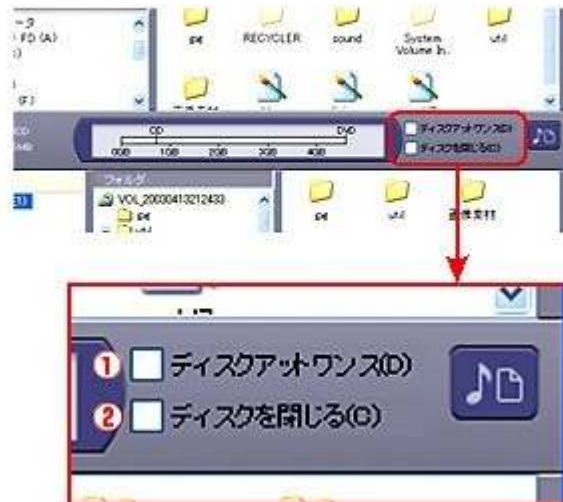
※PC では動作が確認出来ても、書き込む際にデスクトップ上のデータを入れ忘れた、という事がありました。

B's Recorder GOLD の場合

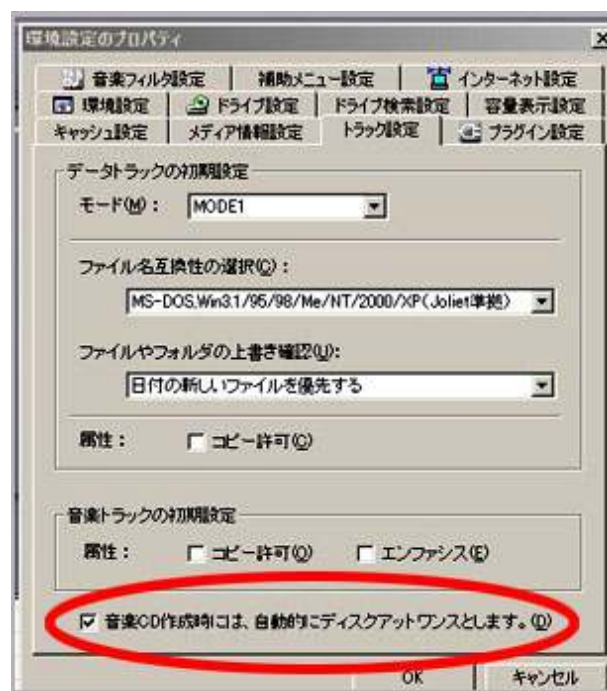
書き込みは必ず最も低速(等倍推奨)で行って下さい。

実際の設定について

書き込み方式の設定は、次のチェックボックスを「オン」「オフ」することで行います。



音楽 CD 作成の場合、環境設定からディスクアットワンスに設定することが出来ます。



※ 上記は B's Recorder GOLD の設定方法例です。

※ 上記以外のライティングソフトご使用の場合は、説明書等をご覧下さい。

※ 作成したデータに不安がある場合はご相談下さい。